



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成28年8月25日 第25号

発行者：校長 伊藤 俊

## 全国高校総体空手道競技 3年1組 浅野 すすも

私は7月30日から8月2日までの4日間、山口県で行われたインターハイに出場してきました。普段の大会とは違う、誰もが憧れる舞台は言葉では表すことのできないくらい最高の景色でした。

去年のインターハイ予選では準決勝で敗れてしまい、たくさん悔し涙を流しました。多くの方々が応援し、期待してくださったのにも関わらずインターハイの切符を取れなかったのは自分の心の弱さだと思いました。その日から1年後のことを見据え努力を怠らず日々辛い練習に耐えてきました。部活はもちろんのこと、父と妹との日課である家での夜練にもさらに力を入れました。そして今年は優勝しインターハイの切符を手に入れることができました。応援してくれた家族、先生方、仲間や友人にやっと恩返しができました。インターハイまでの期間は怪我に悩まされ、受験に向けての準備があったり焦りや不安から上手くいかない時もありましたが、友達に励ましてもらったり、先生に話を聞いてもらい乗り越えました。そして、夢の舞台に出ることへのワクワク感と、なんとも言えない緊張感を胸に抱え当日を迎えました。

「まずは一勝」を目標に挑みましたが結果は1回戦敗退という形で終わってしまいました。しかし、今の自分が持っている力をすべて出し切れたので後悔はありません。とにかく楽しい形が打てました。小さい頃からずっと憧れてお手本としてきた強い選手達と同じコートで戦えたことは一生の思い出となりました。また、5歳の時から空手をやらせてくれて毎回応援に足を運んでくれた両親には感謝しきれません。父は夜練の際いつも厳しく叱り教えてくれたり、試合の時は必ず背中を叩いて気合い入れをしてくれました。母はいつも体調のことを気遣い、そっと見守り私の可能性を信じてくれました。小さい頃から家族みんなは私と一緒に戦ってくれました。指導して下さった先生方には多くの迷惑をかけましたが、私に期待を持ち指導して下さいました。そして仲間や友人は悩んでいる時いつも話を聞いて励ましてくれました。多くの方々があっての今の私だと思います。これまでの経験を生かし、感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたいと思います。



浅野すすもさん、夢と感動をありがとうございました。全国高校総体は来年宮城県でも開催されます。